



# 第72期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

# 営業の概況

国土の安全と安心を実現する専門技術者集団として、新たな価値を創り出し、信頼される会社を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は昭和18年の創業以来、特殊技術の開発、導入を積極的に進め、専門土木分野において、国土の防災やインフラ整備を通じ、社会に大きく貢献してまいりました。

永年蓄積した豊富な経験と確かな技術のもと、社会に貢献していくことを変わることのない使命と深く認識するとともに、将来価値は、常に新たな挑戦の中からはしか生まれないと捉え、新しい事業領域への挑戦、新技術の開発等を通じ、人々の安心できる災害に強い国土の形成に尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役社長 鈴木 和夫

## 営業の概況

### 当中間期の概要

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、東日本大震災の復興需要が一巡したことに伴い、東北地方に拠点を置く連結子会社の売上高が減少したことにより、前年同期比0.3%減の458億4千7百万円となりました。

利益面では、当社において採算性が低下したことにより、売上総利益は前年同期比2.4%減の85億5千6百万円となりました。

また、売上総利益の減少に加え、人件費が増加したことに伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は前年同期比8.9%減の37億9千万円、経常利益は前年同期比9.9%減の39億5千1百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比11.0%減の27億3千4百万円となりました。

### 対処すべき課題

当社を取り巻く事業環境は、政府建設投資・民間建設投資ともに前年度並みと見込まれており、引き続き良好な市場環境が続くものと予想されます。こうした状況のなか、当社グループでは、安全衛生管理と品質管理の徹底、専門土木事業分野における営業力と施工力の強化、建築事業分野での安定的収益力の維持、海外事業分野での収益力の向上、技術開発力の強化、経営・財務基盤の強化を図り、当社グループ全体で事業量を確保するとともに、収益力の向上を図ってまいります。

### 第72期中間 財務ハイライト

●売上高	458億4千7百万円	(前年同期比) 0.3%減
●営業利益	37億9千万円	(前年同期比) 8.9%減
●経常利益	39億5千1百万円	(前年同期比) 9.9%減
●親会社株主に帰属する四半期純利益	27億3千4百万円	(前年同期比) 11.0%減
●1株当たり四半期純利益	52円02銭	
●総資産	928億1千2百万円	
●純資産	604億5千7百万円	
●自己資本比率	65.1%	

# 工種別受注状況



## 斜面・法面对策工事

道路分野において元請けの大型法面補強工事を複数件受注したことに加え、平成30年7月豪雨における緊急復旧工事の受注が増加したことにより、前年同期比8.0%増の212億9千5百万円となりました。



## 基礎・地盤改良工事

空港及び港湾分野における液状化対策工事の受注が増加したことに加え、海外にて大型地盤改良工事を受注したことにより、前年同期比22.2%増の243億2千5百万円となりました。



## 建築工事

首都圏におけるマンション工事の受注は堅調であったものの、東北地方に拠点を置く連結子会社において大型工事の受注が減少したことにより、前年同期比12.2%減の79億9千4百万円となりました。



## 補修・補強工事

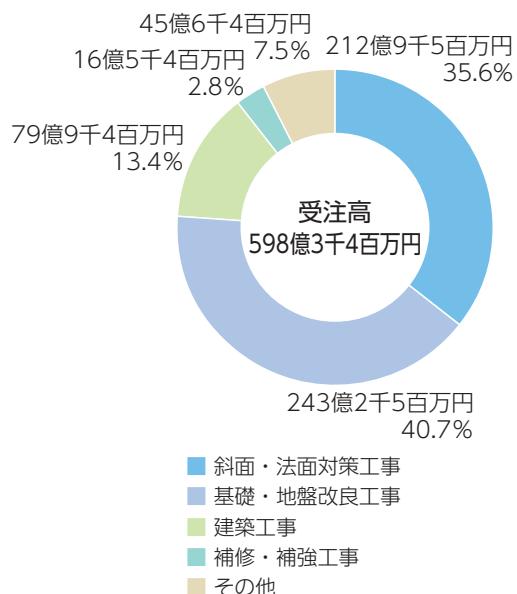
官公庁発注の橋梁補修・補強工事の受注が減少したことにより、前年同期比17.1%減の16億5千4百万円となりました。



## その他

民間発注の土壌・地下水汚染対策工事の受注が減少したことにより、前年同期比26.7%減の45億6千4百万円となりました。

## 工種別受注構成比



# 財務諸表

## 連結

### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末	前期末
	2018.9.30現在	2018.3.31現在
<b>■資産の部</b>		
流動資産	65,076	65,902
固定資産	27,736	27,862
有形固定資産	18,845	19,027
無形固定資産	218	183
投資その他の資産	8,672	8,651
資産合計	92,812	93,765
<b>■負債の部</b>		
流動負債	31,297	33,879
固定負債	1,057	1,100
負債合計	32,354	34,980
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	59,837	58,401
その他の包括利益累計額	619	383
純資産合計	60,457	58,785
負債・純資産合計	92,812	93,765

### ポイント①

**資産**：資産につきましては、工事代金の回収が進んだことによる受取手形・完成工事未収入金等の減少が、施工高増加に伴う未成工事支出金の増加を上回ったため、前期末に比べ9億5千2百万円減少いたしました。

**負債**：負債につきましては、支払手形・工事未払金等が減少したため、前期末に比べ、26億2千5百万円減少いたしました。

**純資産**：純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加が、株主配当金の支払いによる減少を上回ったため、前期末に比べ、16億7千2百万円増加いたしました。

### 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2018.4.1~2018.9.30	2017.4.1~2017.9.30
売上高	45,847	45,998
売上原価	37,291	37,231
売上総利益	8,556	8,767
販売費及び一般管理費	4,766	4,606
営業利益	3,790	4,160
営業外収益	280	312
営業外費用	119	89
経常利益	3,951	4,383
特別利益	18	18
特別損失	9	0
税金等調整前四半期純利益	3,959	4,401
法人税等	1,224	1,328
四半期純利益	2,734	3,073
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,734	3,073

### ポイント②

**連結損益計算書**：売上高は、東日本大震災の復興需要が一巡したことに伴い、東北地方に拠点を置く連結子会社の売上高が減少したことにより、前年同期比0.3%減の減収となりました。

利益面では、売上総利益の減少に加え、人件費の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益の各利益において前年同期比で減益となりました。

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2018.4.1~2018.9.30	2017.4.1~2017.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,422	6,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590	△5,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,060	△1,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△138	△372
現金及び現金同等物の期首残高	20,677	20,739
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	792	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,330	20,367

### 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2018.4.1~2018.9.30	2017.4.1~2017.9.30
四半期純利益	2,734	3,073
その他の包括利益	301	324
その他有価証券評価差額金	114	189
為替換算調整勘定	130	9
退職給付に係る調整額	56	125
親会社株主に係る四半期包括利益	3,036	3,397

## 個別

### 四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末	前期末
	2018.9.30現在	2018.3.31現在
<b>■資産の部</b>		
流動資産	51,575	53,294
固定資産	28,371	28,125
有形固定資産	17,268	17,380
無形固定資産	202	171
投資その他の資産	10,900	10,573
資産合計	79,947	81,420
<b>■負債の部</b>		
流動負債	26,323	28,476
固定負債	882	908
負債合計	27,206	29,385
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	52,831	52,174
評価・換算差額等	△90	△139
純資産合計	52,740	52,035
負債・純資産合計	79,947	81,420

### 四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	2018.4.1~2018.9.30	2017.4.1~2017.9.30
売上高	38,696	38,886
売上原価	31,141	30,948
売上総利益	7,555	7,938
販売費及び一般管理費	4,194	4,105
営業利益	3,361	3,833
営業外収益	265	292
営業外費用	103	75
経常利益	3,523	4,049
特別利益	18	0
特別損失	9	0
税引前四半期純利益	3,531	4,050
法人税及び住民税等	1,074	1,171
法人税等調整額	23	40
四半期純利益	2,434	2,839

# 会社概要 (2018年9月30日現在)

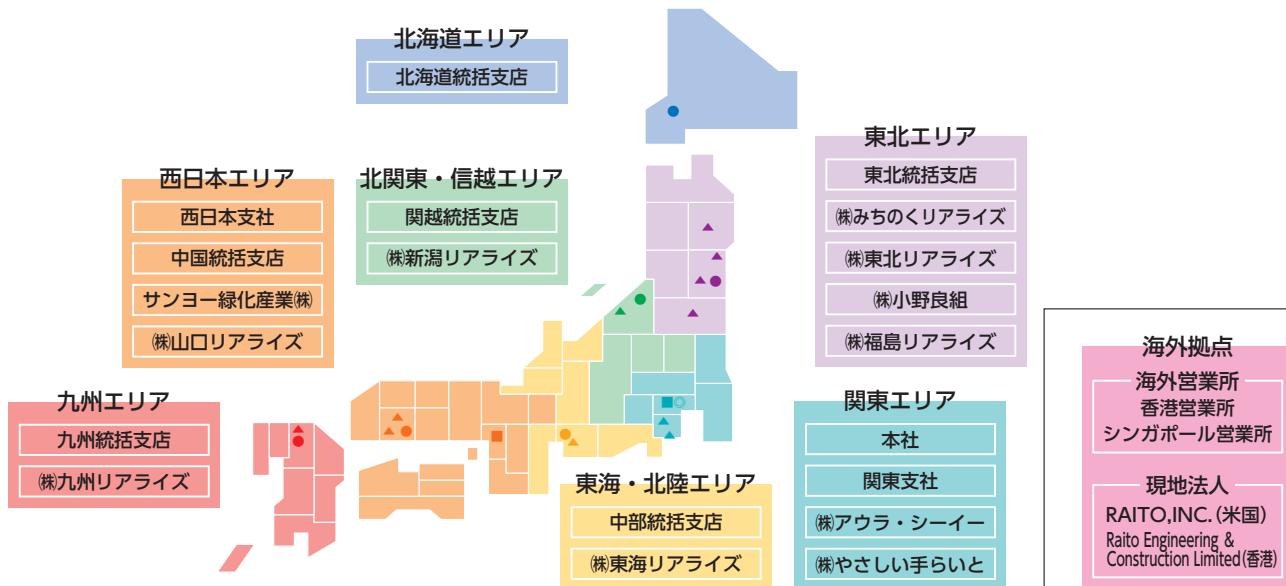
## 会社の概況

商号	ライト工業株式会社
創業年月日	昭和18年7月1日
設立年月日	昭和23年9月28日
事業内容	法面保護工事、地すべり対策工事、基礎・地盤改良工事、補修・補強工事、環境修復工事等の土木工事業、建築工事業及びその他（建設機械のリース、建設資材の販売、介護サービス等）の事業
資本金	6,119,475,000円
従業員数	900名
支社	関東・西日本
統括支店	北海道・東北・関東・中部・中国・九州
連結子会社	13社

## 取締役及び監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	鈴木 和夫	
専務取締役	船山 重明	経営管理本部長
専務取締役	藤澤 伸行	施工技術本部長
常務取締役	宝輪 洋一	安全品質環境本部長
常務取締役	西 誠	経営企画本部長
常務取締役	阿久津 和浩	技術営業本部長
取締役	村井 祐介	関東支社長
取締役	川村 公平	東北統括支店長
取締役	山本 明伸	建築事業本部長
社外取締役	柴田 忠真	税理士
社外取締役	白井 真	弁護士 株式会社マネースクエアHD 社外取締役
監査役(常勤)	木下 博之	
社外監査役	宮城 信吉	
社外監査役	前波 吉伸	大星ビル管理株式会社 代表取締役副社長

## ネットワーク



# 株式の状況 (2018年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 198,000,000 株  
 発行済株式の総数 52,657,923 株  
 (自己株式5,146,527株を除く)

株主数 7,006名  
 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,178
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,902
太陽生命保険株式会社	2,734
株式会社三井住友銀行	2,629
日本生命保険相互会社	2,039
GOVERNMENT OF NORWAY	1,734
株式会社北陸銀行	1,601
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,171
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	1,166
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	839

(注) 1. 当社は自己株式5,146千株を所有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2. 自己株式には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) が保有する当社株式82千株 (取締役に対する業績連動型株式報酬信託分) は含めておりません。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日

期末配当金受領確定日 毎年3月31日

※中間配当金制度は採用しておりません。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

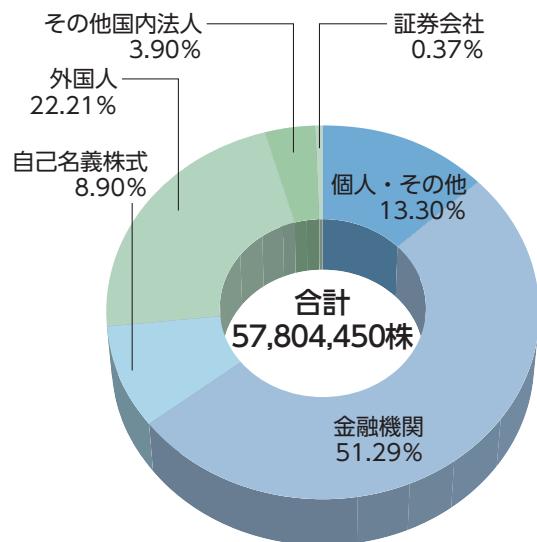
郵便物送付先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各地支店で行っております。

## 所有者別株式数分布状況



## 株式のお取扱いについて

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

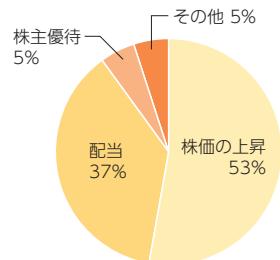
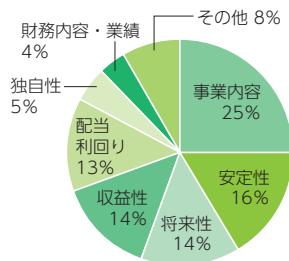
## 株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

第71期報告書でご協力をお願いしたアンケートにつきまして、43名の株主様より、ご回答を頂戴しました。お忙しいなかご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

ここにアンケート結果の一部をご紹介します。

当社では一つ一つのご意見を真摯に受け止め、今後も株主の皆様とよりよいコミュニケーションの実現を目指し、IR活動の参考とさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

### Q 当社の株式を購入された理由は何ですか？(複数回答)



### Q 当社に最も期待するものは何ですか？

#### 株主様からいただいた応援メッセージ・ご意見 (一部抜粋)

- 災害の多い日本の国土を守り抜く企業として、更なる発展を願っています。
- 国土の防災やインフラ整備において信頼される企業でいてください。
- 継続的に利益をあげることで、それに伴う株主還元と株価上昇を期待しています。
- 今後も御社の高い技術力を生かして、日本のみならず海外にも積極的に進出してほしい。

#### 配当政策について

安定的な配当の維持を基本に、業績と経営環境を勘案して決定する方針としております。



株主の皆様から頂戴しました貴重なご意見を活かし、更なる企業価値の向上及びIR活動の充実に向け努力してまいります。



〒102-8236 東京都千代田区九段北四丁目2番35号  
 TEL.03-3265-2550 (ダイヤルイン) FAX.03-3265-0879  
 ホームページ <http://www.raito.co.jp>